



リフレッシュを兼ねた人間ドック

質疑

衛生費

種畜牧場の今後の対応策は

関係者からの聴き取り

議員 タナカ種畜牧場の浄化施設の設計を担当した業者から、当初の考え方などを聴き取りする機会を設けてはどうですか。

当局 タナカ種畜牧場の問題は、町民と行政と関係者の信頼関係をいかに構築し、改善をしていくかになります。

監視委員会の中にも、「招へいをしては」という意見もありましたので、相談しながら結論をだしていきたいです。

人間ドックの啓発

議員 20年度から、再び泊二日のドックも行われるようです。もう少し町民にドックを受けるよう啓発すべきだと思いますがどうですか。

か。
当局 一泊二日コースのドックを要望する声があり再開しました。他のコースと比べ経費はかかりますが、パレス松風と契約をしており、リフレッシュも兼ねて受けられるよう勧めたいです。

労働費・農林水産業費

正規・非正規職員の対比は

雇用形態の実情

議員 雇用形態としては、正規の職員と非正規の職員がありますが、福祉関係ではどのようになっているか伺います。

当局 正社員として保障がされる雇用形態が望ましいのですが、今の福祉関係では、パートなどの方が多くなっているのが実態と想っています。

活性化センターの取り組み

議員 地域農業活性化センター推進事業として、新たな取り組みを行う計画ですが、どのように進めていくのか伺います。

当局 この事業は、荒廃農地の活用や情報の受発信などを行い、町内の農業のセンター機能を担うものです。具体的には農用地の利用

改善や研修などを行いながら進めていきます。

議員 この事業を進めるための人材の配置や方向性の考え方を伺います。

当局 産業振興課が担当し、課内で横の連携を密に推進します。一定の方向性が定まった段階で、専門家や現場の声を集めるコーディネーターの配置を考えています。



荒廃農地の有効利用（ひらび園に）

歳出

（町の支出）

農林水産業費

環境保全型農業の推進

付加価値を高める

議員 環境保全型農業の推進事業では、どのような取り組みを行うのか伺います。

当局 農地・水・環境保全型対策事業として、鮎貝地区を中心に、県が認定するエコファーマーの育成を行い、付加価値を高める農業

町道（農道）の整備

議員 町道なのに農道として利用している道路の整備は、材料は町で負担し、作業を組合や地元で行うなどの白鷹方式を検討してはどうですか。

当局 現場の声として、町の推進に努めていきます。道整備（農道）の要望があることは承知をしています。どのような整備が可能なのか関係課と検討をしていきます。

商工費

伝統工芸者の人材育成

人材育成の取り組み

議員 伝統工芸文化人材育成事業は、県の無形文化財の指定を受けたからだと思います。

現在、後継者が不足しているなかで、町として取り組む具体的な考え方を伺います。

当局 県の無形文化財第二号の指定になった「白鷹板締小紺」の技法は独自のも

ルールの策定

のです。指定により技法を伝承していくことが、町の責務であり、技術保存会とともに人材育成に努めていきます。

議員 移住促進事業は良い発想だと思えます。しかし、年齢の問題などいろいろな条件が考えられ、ルールの策定が必要だと思いますがどうですか。

当局 この事業は、インターンやUターンを展開しているなかで、町の姿勢として補助金を考えているものです。指摘のとおりルール化も必要ですが、行政のしやくし定規だけでは合わないこともあるので、現場の意見を聞きながら展開していきます。



農道整備の方法は



板締小紺の機織り風景